

## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 artience株式会社

コード番号 4634 URL https://www.artiencegroup.com

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 高島 悟

問合せ先責任者（役職名） 執行役員・グループ財務部長（氏名） 有村 健志（TEL） 03(3272)6002

半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 2024年9月9日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	172,257	12.1	10,551	122.1	12,361	130.5	9,356	143.5
2023年12月期中間期	153,676	△0.7	4,749	2.9	5,362	△20.3	3,842	△54.3

（注）包括利益 2024年12月期中間期 27,994百万円（ 39.1%） 2023年12月期中間期 20,128百万円（ 4.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	176.44	176.37
2023年12月期中間期	72.50	72.45

（注）前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年12月期中間期の各数値については、暫定的な会計処理の確定による見直しが反映された後の金額を記載しております。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	485,384	281,942	55.7
2023年12月期	447,798	255,653	54.9

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 270,200百万円 2023年12月期 245,762百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2024年12月期	—	50.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	355,000	10.2	20,000	49.6	20,000	55.3	16,500	69.5	311.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	53,286,544株	2023年12月期	58,286,544株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	246,254株	2023年12月期	5,262,779株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	53,028,863株	2023年12月期中間期	53,000,712株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 決算補足説明資料は2024年8月9日（金）に当社ホームページに掲載いたします。

3. 当社は以下のとおり投資家向けの説明会を開催いたします。この説明会で使用する決算説明会資料につきましては、決算説明会開催前に当社ホームページにて掲載する予定です。

- ・2024年8月20日（火）機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

2023年4月3日に当社100%子会社であるToyo Ink (Thailand) Co., Ltd. が株式を取得したタイ王国のThai Eurocoat Ltd. については、暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定したため、前中間連結会計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、個人消費の持ち直しには足踏みもみられるものの、全般には緩やかに回復が続いております。先行きについても、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復が続くことが期待されますが、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念などが景気を下押しするリスクがあるなど先行きは不透明な状況にあります。

このような環境のなかで当企業グループは、年度方針である「高収益既存事業群への変革」、「戦略的重点事業群の創出」、「経営基盤の変革」の実現に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は1,722億57百万円(前年同期比12.1%増)、営業利益は105億51百万円(前年同期比122.1%増)、経常利益は123億61百万円(前年同期比130.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は93億56百万円(前年同期比143.5%増)と、増収増益になりました。

セグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりです。

#### ① 色材・機能材関連事業

液晶ディスプレイカラーフィルター用材料は、中国や台湾での拡販が進んだことや、テレビ用の大型液晶パネルの稼働が高まり全体の出荷は増加しましたが、車載用や産業機器用などの中小型パネル向けは低迷が続きました。

プラスチック用着色剤は、海外で太陽電池用やエアコン用が好調に推移しましたが、国内では容器用や建材用が伸び悩みました。

インクジェットインキは、需要の増加に伴い国内外で販売が拡大しました。車載用リチウムイオン電池材料は、EV市況の停滞により販売が減少しましたが、今後の出荷増に対応する生産の準備が進みました。

これらの結果、当事業全体の売上高は437億95百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益は21億66百万円(前年同期比47.9%増)と、増収増益になりました。

#### ② ポリマー・塗加工関連事業

塗工材料は、スマートフォンの生産増加に加えて中国での拡販効果もあり、導電性接着シート等の機能性フィルムが好調に推移しました。また、半導体関連材料の実績化も進みました。

粘着剤は、国内ではディスプレイ用が復調した一方、ラベル用では低調が続き、原材料価格やコストの上昇もあり利益が圧迫されました。海外では、設備増強による拡販が進み好調に推移しました。接着剤は、包装用が国内で堅調でしたほか、東南アジアを中心に海外で販売が拡大し、工業用はリチウムイオン電池向けが顧客の稼働拡大に伴い好調でした。

缶用塗料は、国内では飲料缶用が堅調に推移し、海外では水産加工物向けの製缶需要の増加や環境調和型製品の採用拡大に加え、前期に実施したタイの塗料メーカー買収効果もあり、伸長しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は426億31百万円(前年同期比17.3%増)、営業利益は34億79百万円(前年同期比81.7%増)と、増収増益になりました。

#### ③ パッケージ関連事業

リキッドインキは、国内では、気候の温暖化傾向により冷菓や飲料向けが好調で、ペットフードやコンビニ向けも堅調に推移しました。段ボール用は、水産加工物の輸出減少や震災等により青果物の動きが鈍く低調でした。

海外では、中国で消費の低迷により伸び悩みましたが、インドでの拡販が進み、東南アジアや米国等では需要が堅調でした。韓国で環境に配慮した水性インキの拡販が進みました。

グラビアのシリンダー製版事業は、包装用が買い控えによる商品数の減少もあり改版需要が低迷しましたが、エレクトロニクス関連の精密製版は緩やかに回復基調となりました。

この事業環境のなか価格改定の効果があり、当事業全体の売上高は443億41百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益は25億2百万円(前年同期比76.5%増)と、増収増益となりました。

#### ④ 印刷・情報関連事業

国内では、情報系印刷市場の構造的な縮小が継続し、チラシや広告、出版向けは低調に推移しましたが、事業構造の変革によるコストダウンや原材料値上りに対する価格の見直しにより、利益面での改善が進みました。また機能性インキは、紙器パッケージ向けで消費者の買い控えの影響を受けたものの、省エネルギー対応の高感度UVインキが拡販により伸長しました。

海外では、中国で市況は低迷したものの教材向けの販売が拡大し、東南アジアでも紙器パッケージ向けが堅調でした。また、欧州や米国でもLEDや省エネルギー対応のUVインキの販売が好調に推移しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は407億30百万円(前年同期比12.1%増)と増収になり、24億80百万円の営業利益(前年同期は41百万円の営業損失)となりました。

#### ⑤ その他

上記のセグメントに含まれない事業や、持株会社であるartienceによる役務提供などを対象としています。当中間連結会計期間においては、売上高は27億62百万円(前年同期比2.5%減)と減収になり、62百万円の営業損失(前年同期は12百万円の営業利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は4,853億84百万円で、前連結会計年度末より375億85百万円増加しました。負債は2,034億41百万円で、前連結会計年度末より112億97百万円増加しました。純資産は2,819億42百万円で、前連結会計年度末より262億88百万円増加しました。

当中間連結会計期間末日の為替レートが前連結会計年度末日の為替レートに比べ、円安外貨高に振れたため、海外子会社で保有する資産、負債及び為替換算調整勘定が増加しました。また、海外での新工場建設に伴い有形固定資産が増加しました。さらに、日本国内の株価上昇を反映し、投資有価証券、繰延税金負債、その他有価証券評価差額金がそれぞれ増加しました。一方、親会社株主に帰属する中間純利益を計上したものの、自己株式の消却などにより、利益剰余金及び自己株式が減少しました。なお、一部の短期借入金の返済期限到来に伴い借り換えを実施したため、短期借入金が減少し、長期借入金が増加しております。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の中間期末残高は、期首残高より33億20百万円増加し、593億61百万円となりました。

営業活動により得られた資金は151億46百万円(前年同期比95億14百万円増)となりました。税金等調整前中間純利益及び減価償却費の計上などによる資金の増加や、売上債権の増加、棚卸資産の増加、法人税等の支払いなどによる資金の減少がありました。

投資活動により使用した資金は114億56百万円(前年同期比20億88百万円増)となりました。有形固定資産の取得による支出などによる資金の減少がありました。

財務活動により使用した資金は28億83百万円(前年同期比6億22百万円減)となりました。長期借入れによる収入及び収益分配請求権設定契約による収入などに伴う資金の増加や、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払いなどによる資金の減少などがありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における当企業グループの事業環境におきましては、EV市況の停滞に伴い車載用リチウムイオン電池材料は減少しましたが、今後の出荷増に対応する生産の準備は進んでおり、全般には、世界的に堅調な需要に支えられ、海外の成長地域において実施した設備増強により販売が拡大していることから売上高は当初の計画を上回って推移する見込みとなっております。

また、事業構造改善などによるコスト削減や販売価格の改定が進展し、利益改善が進んだほか、投資有価証券売却益見込みも加味した結果、利益面でも当初の計画を上回る見込みです。

以上により、2024年12月期の通期連結業績予想につきましては、2024年2月14日に公表しました数値から変更しております。

なお、詳細につきましては、本日(2024年8月9日)公表の「通期連結業績予想並びに剰余金の配当(中間配当・増配)及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」、「保有株式の縮減方針及び投資有価証券売却益(特別利益)の計上見込みに関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	57,917	62,745
受取手形及び売掛金	102,930	109,858
有価証券	65	81
商品及び製品	37,714	40,442
仕掛品	722	1,320
原材料及び貯蔵品	26,282	27,899
その他	6,224	5,508
貸倒引当金	△944	△1,104
流動資産合計	230,911	246,752
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	117,331	122,452
減価償却累計額	△74,044	△77,692
建物及び構築物(純額)	43,286	44,759
機械装置及び運搬具	174,680	184,386
減価償却累計額	△144,890	△151,326
機械装置及び運搬具(純額)	29,789	33,060
工具、器具及び備品	28,542	29,423
減価償却累計額	△23,472	△24,353
工具、器具及び備品(純額)	5,070	5,069
土地	30,802	31,487
リース資産	8,190	8,988
減価償却累計額	△2,581	△2,880
リース資産(純額)	5,608	6,107
建設仮勘定	19,700	26,343
有形固定資産合計	134,258	146,828
無形固定資産	5,290	5,793
投資その他の資産		
投資有価証券	63,874	71,995
退職給付に係る資産	8,410	8,640
繰延税金資産	3,323	3,554
その他	2,027	2,182
貸倒引当金	△298	△363
投資その他の資産合計	77,337	86,008
固定資産合計	216,886	238,631
資産合計	447,798	485,384

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,075	70,756
短期借入金	36,542	27,987
未払法人税等	1,579	2,858
その他	18,756	21,433
流動負債合計	123,953	123,035
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	40,161	46,936
繰延税金負債	13,563	15,390
環境対策引当金	118	80
退職給付に係る負債	1,878	2,139
資産除去債務	34	34
その他	2,434	5,823
固定負債合計	68,191	80,406
負債合計	192,144	203,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,733	31,733
資本剰余金	32,468	32,466
利益剰余金	156,381	153,278
自己株式	△10,615	△496
株主資本合計	209,967	216,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,845	25,381
為替換算調整勘定	14,809	26,909
退職給付に係る調整累計額	1,139	927
その他の包括利益累計額合計	35,794	53,218
新株予約権	45	33
非支配株主持分	9,845	11,708
純資産合計	255,653	281,942
負債純資産合計	447,798	485,384

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	153,676	172,257
売上原価	124,765	134,846
売上総利益	28,910	37,411
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	3,568	3,998
給料及び手当	6,288	6,861
賞与	1,240	1,309
福利厚生費	1,507	1,635
減価償却費	926	981
研究開発費	1,779	1,900
その他	8,849	10,174
販売費及び一般管理費合計	24,160	26,859
営業利益	4,749	10,551
営業外収益		
受取利息	143	239
受取配当金	717	685
為替差益	942	1,396
正味貨幣持高に係る利得	-	985
その他	240	370
営業外収益合計	2,044	3,676
営業外費用		
支払利息	869	1,290
持分法による投資損失	53	13
正味貨幣持高に係る損失	158	-
その他	349	563
営業外費用合計	1,431	1,867
経常利益	5,362	12,361
特別利益		
固定資産売却益	118	11
投資有価証券売却益	879	36
特別利益合計	998	48
特別損失		
固定資産除売却損	107	174
投資有価証券売却損	297	-
子会社株式売却損	-	85
割増退職金	142	116
事業構造改善費用	399	-
その他	49	15
特別損失合計	995	392
税金等調整前中間純利益	5,365	12,016
法人税、住民税及び事業税	2,127	3,076
法人税等調整額	△572	△514
法人税等合計	1,554	2,562
中間純利益	3,811	9,454
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△31	98
親会社株主に帰属する中間純利益	3,842	9,356

## 中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	3,811	9,454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,338	5,536
為替換算調整勘定	6,631	12,995
退職給付に係る調整額	△178	△211
持分法適用会社に対する持分相当額	525	219
その他の包括利益合計	16,317	18,540
中間包括利益	20,128	27,994
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	19,730	26,780
非支配株主に係る中間包括利益	398	1,213

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	5,365	12,016
減価償却費	5,443	5,963
正味貨幣持高に係る利得	-	△985
正味貨幣持高に係る損失	158	-
事業構造改善費用	399	-
受取利息及び受取配当金	△861	△924
支払利息	869	1,290
持分法による投資損益(△は益)	53	13
有形固定資産売却損益(△は益)	△111	△4
有形固定資産除却損	14	34
投資有価証券売却損益(△は益)	△582	△36
売上債権の増減額(△は増加)	3,476	△2,553
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,435	△1,412
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,614	706
その他	1,325	2,206
小計	6,373	16,315
利息及び配当金の受取額	884	899
利息の支払額	△805	△1,206
法人税等の支払額	△820	△861
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,631	15,146
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	228	△1,098
有形固定資産の取得による支出	△9,328	△9,981
有形固定資産の売却による収入	555	71
無形固定資産の取得による支出	△512	△401
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△324	△39
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	2,564	119
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,533	-
その他	△17	△124
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,367	△11,456
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,729	△779
長期借入れによる収入	1,339	12,435
長期借入金の返済による支出	△355	△15,595
収益分配請求権設定契約による収入	-	3,067
リース債務の返済による支出	△209	△291
配当金の支払額	△2,384	△2,384
非支配株主からの払込みによる収入	-	770
その他	△166	△105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,506	△2,883
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,499	2,514
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,743	3,320
現金及び現金同等物の期首残高	53,385	56,040
現金及び現金同等物の中間期末残高	47,642	59,361

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月10日開催の取締役会決議に基づき、2024年5月31日付で、自己株式5,000,000株の消却を実施しております。この結果、当中間連結会計期間において資本剰余金が13百万円、利益剰余金が10,073百万円、自己株式が10,086百万円それぞれ減少し、当中間連結会計期間末において資本剰余金が32,466百万円、利益剰余金が153,278百万円、自己株式が496百万円となっております。

(セグメント情報等)

## I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	色材・ 機能材 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	パッケージ 関連事業	印刷・情報 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	38,761	36,274	40,019	36,331	151,388	2,287	153,676	—	153,676
セグメント間の内部 売上高又は振替高	602	75	342	13	1,032	546	1,579	△1,579	—
計	39,364	36,349	40,361	36,344	152,420	2,834	155,255	△1,579	153,676
セグメント利益又は 損失(△)	1,465	1,914	1,418	△41	4,755	12	4,768	△18	4,749

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない原料販売等の事業セグメントや、当社が親会社として行うその他の収益を稼得する事業活動であり、役務提供等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△18百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前中間連結会計期間のセグメント情報は、暫定的な会計処理の確定後の内容を反映させております。当該変更により、従来の方法に比べて、前中間連結会計期間の「ポリマー・塗加工関連事業」のセグメント利益は3百万円減少しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	調整額	合計
	色材・ 機能材 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	パッケージ 関連事業	印刷・情報 関連事業	計			
減損損失	305	—	—	—	305	—	—	305

(注) 「色材・機能材関連事業」に係る減損損失305百万円は中間連結損益計算書上、「事業構造改善費用」に含まれております。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	色材・ 機能材 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	パッケージ 関連事業	印刷・情報 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	42,629	42,561	43,912	40,718	169,822	2,435	172,257	—	172,257
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,165	70	428	12	1,677	327	2,004	△2,004	—
計	43,795	42,631	44,341	40,730	171,499	2,762	174,261	△2,004	172,257
セグメント利益又は 損失(△)	2,166	3,479	2,502	2,480	10,628	△62	10,565	△14	10,551

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない原料販売等の事業セグメントや、当社が親会社として行うその他の収益を稼得する事業活動であり、役員提供等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△14百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

## (企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2023年4月3日に株式を取得したThai Eurocoat Ltd.については、前中間連結会計期間において、暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当中間連結会計期間の中間連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額の見直しが反映されております。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結損益計算書は、減価償却費が15百万円増加し、のれん償却額が12百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前中間純利益がそれぞれ3百万円減少しております。

また、前中間連結会計期間の中間連結キャッシュ・フロー計算書は、営業活動によるキャッシュ・フローにおいて、税金等調整前中間純利益が3百万円減少し、減価償却費が15百万円増加し、その他が12百万円減少しております。

## (重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2024年8月9日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得にかかる事項を決議いたしました。

詳細につきましては、本日別途公開いたしました「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご参照下さい。